



技術・知識を地域につなげるプロジェクト 土木科 岩手・宮城内陸地震の記録をデジタル化

6月12日（土）土木科の地域プロジェクト班は、巖美地区センターと取り組んでいる岩手・宮城内陸地震の施設展示に向けて現地調査を行いました。当日は快晴で気候も安定し、ドローンの飛行には最適でした。祭時大橋の崩落現場では展望の丘からドローンを飛ばし、祭時大橋を中心に上空を360度旋回させながら撮影しました。この光景を見ていた巖美地区の皆さんは、あらためてドローンの性能の素晴らしさに感激していました。

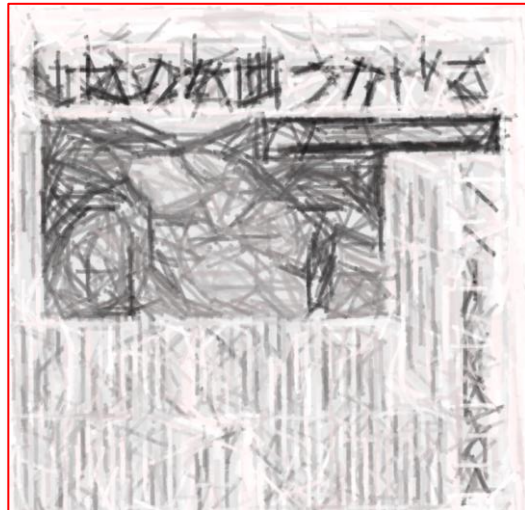
祭時大橋の崩落現場から、磐井川の市野々原地区の土砂崩れ現場では、当時の災害復旧の様子を聞きながら、川沿いにドローンを飛行させて撮影を行いました。また、産女川上流の土石流発生現場では治山工事を見学し、その災害規模に圧倒されました。現場は、野鳥が子育てをしているためドローンの飛行は出来ませんでしたので、震源地踏査と産女川上流の撮影は次回になります。

なお、今回の調査の様子は18日の「おぼんですいわて」でも放映されます。土木科の生徒の皆さんお疲れ様でした。山谷分館での震災記録の展示に向けて頑張ってください。

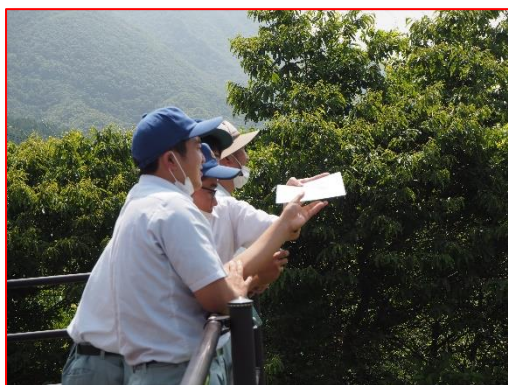
～ いま関工がおもしろい ～



岩手日報新聞 R3.6.13



岩手日日新聞 R3.6.13



ドローン操縦に集中「落としたら大変だ！」



崩落した祭時大橋

